



イベント 終了しました

## 【満員御礼受付終了】リンボウ先生の「源氏物語、そのゆるぎなき表現」 第2回「源氏物語のユーモア」

キーワード	日比谷カレッジ
内容	<p>源氏物語というと、単純に「平安朝の雅なものがたり」とばかり思い込んでいる人が多いかもしれませんが。しかし実は源氏物語には、悲喜劇の様々な要素が過不足なく揃っています。</p> <p>この名作の「表現」に着目し、いくつかのテーマを設けて物語中の特に筆の冴えを見るべきところを抽出し、詳しく読んでいく全3回講座の第2回は、日本の笑いなどについて、深い研究をしてきた日本古典文学のスペシャリスト、ロバート・キャンベル氏をゲストとしてお招きし、源氏物語のユーモアという側面から林望氏と縦横に話し合ってください。</p> <p>— 次回予告 — ③ 12月17日（火） 「源氏物語のドラマ性」 ゲスト：石山智恵（フリーキャスター）</p> <p>※千代田区民・学生の方は参加費が割引となります</p>

	ので、住所が確認できるものもしくは学生証をお持ちください
日にち	2013年11月28日（木） 18:30から20:30
日にち説明	当日の受付開始 18 : 00～
場所	地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
定員	200名（申込順）
参加費用	500円（千代田区民・学生無料）

講師・出演者	講師：林望／ゲスト：ロバート・キャンベル
プロフィール	<p>■林 望（はやし のぞむ）  1949年東京生まれ。慶應義塾大学大学院博士課程修了。ケンブリッジ大学客員教授。東京芸術大学助教授を経て、作家活動に専念。専門は日本書誌学、国文学。『イギリスはおいしい』（文春文庫）で日本エッセイスト・クラブ賞、『林望のイギリス観察辞典』（平凡社）で講談社エッセイ賞、『ケンブリッジ大学所蔵和漢古書総合目録』（ケンブリッジ大学出版）で国際交流奨励賞を受賞。著作に『すらすら読める風姿花伝』（講談社）、『リンボウ先生のうふふ枕草子』（祥伝社）など古典に関するものも多数。『謹訳 源氏物語』（祥伝社）全十巻刊行。</p> <p>■ロバート・キャンベル  東京大学大学院教授。カリフォルニア大学バークレー校卒業。ハーバード大学大学院東アジア言語文化学科博士課程修了。日本の近世文学・明治文学、特に江戸中期から明治の漢文学、芸術、思想などに関する研究を行っており、日本文化への造詣も深い。著書に『Jブンガク 一英語で出会い、日本語を味わう名作50一』（東京大学出版会）などがある。</p>

主催	公益財団法人上廣倫理財団
共催	日比谷図書文化館

問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館（03-3502-3340）
申込期間	2013年09月01日 10:00 から2013年11月28日 18:30
申込方法	電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）、来館（1階受付）いずれかにて、①講座名(または講演会名)、②お名前（よみがな）、③電話番号をご連絡ください。

## カレンダー表示

2013年 11月

イベント開催日


休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

発信日

2013.10.09

 印刷

 リストに追加

[ツイート](#)